

1.技 術	4.2 海外からの技術者招聘・研修
2.事 業 名	4.2.22 造水技術に関する海外技術者研修(H30)
3.キーワード	排水処理、再生利用、海水淡水化、研修事業
4.目的	本研修事業は、主に日本の排水処理・再利用、海水淡水化の技術紹介を中心とし実施するものである。
5.内容、成果	<p>平成30年度は、近年、工業発展がめざましく、同時に各種環境問題を抱えていると思われる東欧諸国及び中東・アフリカ諸国等を対象とした。</p> <p>招聘した研修生はイラン、セルビア、モンテネグロ、クロアチアより各1名、計4名で、9月3日(月)から9月15日(土)の間の研修を無事終了し、報告書を取りまとめた。</p> <p>研修生の所属部署は以下の通り。</p> <p>セルビア：スポティカ市上下水道部 生産部部长 (Executive Director of the department of production, PUC “Waterworks &amp; Sewerage” Subotica)</p> <p>クロアチア：クロアチア・ウオーター 技師 (Engineer for Water protection, Croatian water)</p> <p>モンテネグロ：持続可能な開発観光省 上級顧問 (Senior Advisor, Directorate for Waste Management and Communal Service Division, Ministry of Sustainable Development and Tourism)</p> <p>イラク：イスファハン大学環境研究所 (Environmental Research Institute, University of Istahan, Iran)</p>
6.参照	本事業は、本財団の自主事業として実施したものである。